

越前みなと大花火

● 7月の第2土曜日に開催

越前みなと大花火の前身である「越前夏まつり」は、昭和62年から“越前町の地域振興と観光振興”を目的とした夏の一大イベントとしてスタートしました。

開催当初、昼は「ギャルみこし」、夜は「花火大会」の2部構成でしたが、平成14年には地域住民が担ぎ手、担ぎ手の「うらみこし」に、平成16年からは地元の若者がみこしを造って担ぐ「浜若力みこし練歩き」と変わっていきます。

しかし、少子高齢化の影響でみこしの担ぎ手が少なくなったことを理由に、平成19年に「花火大会」をメインとしたイベントに変更し、さらに平成30年には名称を「越前みなと大花火」に変えて現在にいたります。

越前の港と海を一望した臨場感たっぷりの花火大会であり、「県内で一番早く開催される花火大会」として、今では夏の始まりを告げる風物詩となっています。



▲越前みなと大花火2020
実行委員長 青柳 隆治さん

実行委員長から町民のみなさんへ

新型コロナウイルス感染拡大を受け、関係者や来場者の安全を第一に考え、イベントの中止を決定しました。大変残念ですが、気持ちを切り替え、今年は「充電期間」として、より魅力的なまつりにするための協議を重ね、来年にしっかりと想いを繋げていきたいと思ひます。

例年以上に趣向を凝らした花火大会を目指し、みなさんに見に来ていただけるよう準備してまいりますので、「越前みなと大花火」へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

越前陶芸まつり

● 5月の最終土・日・月曜日に開催

越前陶芸まつりは、春の農繁期をおえた村人たちが一息入れる「さつきあげ茶会」を盛り上げようと、陶芸村に住む陶芸家たちが、自分たちの作品を並べ、手作りの料理で茶会に集まった人たちをもてなしたのが始まりです。

その素朴さが訪れる人の心を熱くさせ、年を重ねるごとに盛大になり、第4回からは旧宮崎村のまつりとして開催されてきました。

現在では、約60もの窯元の作品が並ぶ「越前焼陶器市」をメインに、さつきあげ茶会、歌謡ショー、やきものオークション、パザーなど多彩な催しを緑いっぱいの陶芸公園の中、家族や友人とゆったり楽しめる3日間となっています。



▲第40回越前陶芸まつり
実行委員長 武藤 吉明さん

実行委員長から町民のみなさんへ

越前陶芸まつりは、今では約10万人の来場者で賑わう福井県を代表するイベントに成長しました。今年は、新型コロナウイルスの影響で中止となり、楽しみにされていたお客様や出店者、関係者のみなさんには、大変心苦しい限りではございますが、何卒ご理解ください。

来年に向けて、イベント内容のさらなる充実を図り、来場者のみなさんに喜んでもらえるよう取り組む所存でございますので、「やきものの祭典・越前陶芸まつり」にぜひお越しください。

特集

写真で
振り返る

越前四大まつり

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年は町の四大まつりがやむなく中止となりました。この事態の収束を願いつつ、来年の開催に向けて、四大まつりの歴史を振り返ります。